

人間生活学研究科各専攻における人材養成等の目的

専攻名	人材養成等の目的
人間発達学専攻	<p>人間発達学専攻人間発達学コースは、人間の生涯発達を視野に入れながら、「発達基礎論」「発達支援論」の二つの観点から、専門的な職業実践、総合的人間発達研究を行うことができる人材の養成を目的とする。</p> <p>臨床心理学コースは、教育、保健、医療、福祉、司法、産業など、さまざまな専門職と協働して、心理臨床活動、実践的研究活動を行うことができる臨床心理の専門家の養成を目的とする。</p>
食品栄養学専攻	<p>食品栄養学専攻は、学童期を中心に据えた食育、生活習慣病の予防と進行の防止、障害者や高齢者のQOLの確保、新規食品の開発と安全性の確保、栄養学の研究、栄養行政の推進において、人間の総合理解に根ざした健康科学的視野から多面的に関わる実践能力を修得した専門職業人の養成を目的とする。本専攻では、3研究分野における教育と研究の成果を有機的に統合して思考力の柔軟化と深化を図り、健康科学の発展に寄与することを目指す。</p>
人間生活学専攻	<p>人間生活学専攻は、人間中心の生活学を総合的・専門的視座から教授研究し、深い学識と知見を授けて学術研究の発展に資するとともに、社会の要請に応える人材を育成することを教育研究上の目的とする。そのために、本専攻では人間社会論、生活文化論、生活経営論、生活環境論の4研究分野を設け、それらの有機的連携のもとに、人間生活に関する高度の専門知識及び研究能力を備えた研究者、専門職員、教員等の養成を目指す。</p>
人間複合科学専攻	<p>人間複合科学専攻は、人間及び人間生活に関わる諸問題を、多角的視座を保ちつつ深く考究しうる高度の研究能力を有した研究者、並びに専門行政官等、高度に専門的な業務に従事しうる人材の養成を教育上の目的とする。本専攻では、精神機能論、保健栄養論、生活文化論の3研究領域を設け、各領域の密接な連携のもとに必要とする人材の養成を図るとともに、広く学術研究の進展に寄与することを目指す。</p>